

資料タイトル：自由学園幼児生活団 通信グループ担当者名

作成者：『自由学園一〇〇年史』幼児生活団検討グループ

作成年代：2021年11月15日

資料内容：自由学園幼児生活団通信グループは、戦後生活団の入団希望者が多く断らざるを得なかった時(1950年)に、指導者が4才組の教材をその人たちに送ることを始めたのを機に開始された。その後徐々に生活団4才組の教育内容である「はげみ表」や紙芝居の話を絵にしたものを子どもたちに送り、保護者は家庭での子どもの様子を手紙にして生活団へ送り返す形式として続いてきている。

主な担当者は下記の通り。

典拠資料：元自由学園幼児生活団指導者聞き取り等。

『自由学園一〇〇年史』該当章：第Ⅱ部幼児生活団第三章

二次利用に際して：作成以降、現在までに内容が追加・修正されている場合があるため、本資料の二次利用については事前許可制とする。「資料利用許可申請書」を記入の上、archives@jiyu.ac.jpへ提出のこと（詳細は「自由学園100年+」トップページ>資料の公開方針と利用方法を確認）。

.....

荻原和子：昭和36年(1961年)~平成7年(1995年)

藤野和子：昭和63年(1986年)~平成31年(2019年)

他、折々に2,3人の係が携わった。

会員数が多い時には、女子部高等科2年生の希望者が夏休みに手伝いに来て発送作業を行った。

生活団5才組の保護者が発送作業を手伝った事もあった。